

認知症高齢者等見守りネットワーク事業「認知症高齢者等捜索サポーター対象捜索模擬訓練」 ～サポーターさんの参加と協力で捜索模擬訓練を行いました！～

認知症高齢者等捜索サポーターとは、認知症の方などが行方不明になった時、行方不明になった方の情報を自身の携帯電話などでメール受信し、対象者の早期発見や保護にご協力を頂くボランティアです。現在約 200 人の方が登録しています。

今回の訓練は、事前に2つの徘徊コースをお知らせし、①対象者に声をかける②市に連絡する、の2つを体験する訓練となりました。

捜索模擬訓練の様子です

市からメールを配信



メールを受信

②西コースの様子



ふらふらと演技をしながら
ヨークベニマル岩沼西
店の店内へ……

店員さんが声をかけてくれました。
ご協力ありがとうございました。



皆さんが捜索しやすいように、より具体的な内容を配信すること、また、電話対応する市の職員は、対象者と通報者の両方の安全に配慮しながら、通報者が安心できる声掛けと的確な情報の聞き取りが大切だと感じました。



①市役所コースの様子



認知症役のボランティアさんがコースを歩きます。



岡文の店員さんが声掛けをしてくださいました。旗の設置もありがとうございました。



歩いていると、サポーターさんが声をかけてくれました。神社のブランコに座ってもらい、その間に市に連絡してもらいました。
「実際は言われていることが分からないこともあると思うので、その時はどうしたらいいか少し不安ですね」と話してくださいました。

登録ボランティアさんの感想

ひと事じゃないと思って登録。そして今回広報で見え参加。でも声をかけるって緊張しますね。体験できてよかったです。また参加したいです。

認知症役の方の感想

訓練だとわかっていても、急に知らない人から声をかけられるとびっくりするもんだね。でも、挨拶してから話し始めてくれたり、穏やかな声だと安心したよ。
「電話するから待っててね」など声をかけてもらうと安心するんじゃないかな。みなさんとても丁寧でした。

認知症の人役をしていただいた
市役所コース相原さん・西コース伊藤さん
役になりきって頑張ってくださいました。
ありがとうございました

担当：岩沼市健康福祉部介護福祉課
高齢者活躍支援係 ☎24-3016

今回の捜索訓練から、たくさんのことを学びました！
ご協力いただき、ありがとうございました。